

言者ムハンマド（5/12）：移住の

:

明:この 事の 明: ムスリムたちのマディナ移住にまつわる出来事について。

目:[事言者ムハンマド彼の](#)

より: IslamReligion.com

ED6 Dec 2009

集日 21 Oct 2010

ヤスリブから来た男たち

彼らはマッカから 400キロ以上離れた、にアル=マディナとして知られるようになる町ヤスリブから、巡礼（ハッジ）の目的でマッカを来ました。ヤスリブはかなオアシスとして、在でも良のナツメヤシの地として有名ですが、それ以外の部分では々な不幸がもたらされていました。そこでは部族の抗争がえることがなく、ユダヤ人たちはユダヤ人同士で、アラブ人たちもアラブ人同士で争っていました。アラブ人たちはユダヤ人と同盟をみ、他のユダヤ人と同盟をんだアラブ人部族と争いました。マッカは繁していましたが、ヤスリブは荒しており、その住民をさせる能力のある指者を求めているのです。

ヤスリブのユダヤ人部族の中には学のあるラビたちがおり、彼らはたびたび多神教徒たちにし、やがて彼らの中かられる言者にして言及していました。そして彼が来たには、去に偶像崇のためぼされたアドやサムドの部族のように、アラブ人たちを破に追いやるだろうと主しました。

言者ムハンマド（彼に神の慈悲と祝福あれ）は、まだその点ではマッカの郊外で秘密にイスラムの布教を行なっていました。ある日彼はマッカの郊外にあるアカバにおい

てある集 と出会い、同席を ねたところ、快く迎え入れられました。このヤスリブから来たハズラジュ族の男たちはムハンマドの教えを受け入れ、彼をユダヤ人が彼らに 明した 言者であると め、そこにいた6人全 がイスラ ムを受け入れました。また彼らはこの新しい宗教によって、ムハンマドが彼らの部族とその兄弟部族であり同祖にも わらず 年 し憎 の 象となっていたアウス族との 合の助けになることを望みました。彼らはヤスリブに り、ムハンマドの く教えを めようと 心しました。その 果、ヤスリブではイスラムの教えを知らない家は一 もなくなり、翌年の巡礼期である621年には、ヤスリブからの代表 が 言者ムハンマドとの面会に れたのです。

第一のアカバの誓い

この代表 は12人の男たちによって 成されており、前年からの5人、そしてアウス族からも2人が参加していました。彼らはアカバで 言者と再会し、彼らの名とその妻たちの名にかけて、神に何者をも同配しないこと（ムスリムになること）、盗み、 通、生まれ た女 の 害をしないこと、そして全ての正しい事柄において 言者に うことを誓いました。これが第一のアカバの誓いとして知られるようになったものです。彼らがヤスリブに った 、 言者は彼らのもとにムスアブ ブン ウマイルを大使として送り、新しい改宗者たちに信仰の基 を教えさせ、依然としてイスラ ムを受け入れていない者たちのため、更なる布教をさせたのです。

ムスアブは、ヤスリブのほとんど全ての家庭の中に最低一人はムスリムがいるような 状 になるまで布教を け、翌年622年のハッジ前に 言者のもとへ り、彼の使命の吉 と、ヤスリブの人々の と さを 告しました。

第二のアカバの誓い

そして622年、ヤスリブから2人の女性を含む、75人のムスリムからなる巡礼者がハッジを行うためにやってきました。その日の夜 く、人々が眠りの最中にある 、ヤスリブのムスリム巡礼者たちは事前に 言者と打ち合わせていたアカバの岩 に密かに集まり、言者へ忠 を誓い、彼をヤスリブへと招くことを しました。その には 言者と共に、多神

ムスリムたちは小さな集落を作ってマッカを脱出し、ヤスリブへと出しました。こうしてヒジュラ（移住）が始まったのです。

それはクライシュ族にとって、到底容赦の出来ることではありませんでした。同じ都市の中にいるだけでも十分なのに、彼らはマッカの北の地に拠点を築こうとしているのです。伯父アブ タリブの死によって、ムハンマドは重要な支持者を失いました。それにより、先祖の栄光と血の縁を恐れる必要のなくなったマッカの指導者たちは、遂にムハンマド（彼に神の慈悲と祝福あれ）の害を心したのです。アブ ジャハルはある画を企てました。それは、数々の部族から若者たちを集め、それぞれがムハンマドに致命的な一撃を与えることによって血の縁が分散されるようにするというものです。彼は、ハシム家がそれら全ての部族から支持を求めることは出来ないと思ったのです。

この 事 の ウェブ アドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/173>

著作権 2006-2015 無断複製を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 無断複製を禁じます。